



ゆめ ちから
夢と力に



No.4 令和4年12月9日

大輪祭『キラリ&ホットを深め、仲間と交流する機会を増やそう』

今年度の大輪祭は、感染症対策として、発表は学年・グループごと、参観は保護者の方のみとさせていただきます。しかし、発表当日は保護者の方や同じ学部の友達、先生方など、多くの方に参観していただくことができました。児童生徒たちは気合いいっぱい！元気いっぱい！という様子で、今までの学習の成果や頑張りを発表していました。

また、大輪祭テーマのとおり、全校の児童生徒が交流することを大切に、病弱学級・訪問教育と中学部のコラボレーションによる看板製作や、全校児童生徒のキラリ&ホットを集めて制作したパネル展示を行いました。制限がある中でも展示物作成を通して他学部・他部門の児童生徒が交流することで、互いの良さや頑張りを知り、認め合うことができました。

今後も一人一人のきらめきや、交流の輪を大切に育てていきたいと思っています。今後も御理解御協力をお願いします。



大輪祭実行委員長：今村

一人一人が放つキラリ&ホットで大きな華が咲きました

今年の大輪祭は、大輪祭週間として、学年、グループごとの発表でした。コロナ状況が少し落ち着いたことから、保護者の方に見に来てもらうことができ、児童生徒たちも本番に向けた意気込みが違っていたと思います。学部を越えて協働でパネルや看板を作成したり、PTAが昇降口にバルーンアーチを作成したりと児童生徒、保護者、教職員、みんなで大輪祭を盛り上げ、つながりを深めました。

発表では、これまでの学習で頑張ってきたことをベースに、様々な工夫や仕掛けがされていて、一人一人がとても輝いていました。大輪祭という大きな目標に向けて、頑張ってきたこと、本番で力を出し切ったことは、自信となり、一人一人を確実に成長させていると思います。一人一人の成長の花が一つにまとまって中央特別支援学校に大きな華を咲かせ、その喜びを分かち合えた大輪祭でした。この大きな華を地域の皆様にも見ていただき、一緒にさらに大きな華にしていきたいと願っています。今後とも御支援御協力をお願いします。



校長 伊賀 匡



静岡県立中央特別支援学校

～皆と共に 心豊かに たくましく 生きる力を育てる～

静岡県葵区漆山 777

TEL 054-246-5504 FAX 054-247-6929



学校 HP も
ご覧ください。

《各部の紹介》

＜小学部＞

6年生は、修学旅行で行ってきたヤマハイノバージョンロードやまつり会館、アクトタワーで体験したことや楽しかった思い出、学んできたことを発表しました。

実際に見てきた屋台や大凧、アクトタワーを自分たちで作ったり、ヤマハで体験したことを映像にまとめたりしてみんなで協力し準備をして発表をしました。浜松について学んだこと、修学旅行で感じたことを見に来てくれた方々に伝えることができました。



(文責：宮川)

＜中学部＞

『大輪祭で作業学習のことを伝えよう』を合言葉に、牛乳パックを原材料に油や湿気、匂いを吸収する『とるとるくん』を作る様子を発表しました。工程がいくつかあり来校してくれたお客さんは一緒に製作体験ができます。

お客さんと一緒に牛乳パックをちぎったり、自分でスイッチを押してミキサーを回したりすることができました。慣れた手つきで作業する様子を見た人からたくさんの拍手をもらいました。



(文責：山田)

＜高等部＞

学習グループごとに取り組む大輪祭。グループの特長を生かしながら、それぞれの発表を行いました。

プロレスのように自分の得意技を披露する、目的の物をゲットするために自分から動き出す、学習の積み重ねを販売形式で発表し、商品として学習成果を伝えるなど。発表の形は違いますが、“大輪祭で伝えたい”という気持ちをもって取り組んできました。

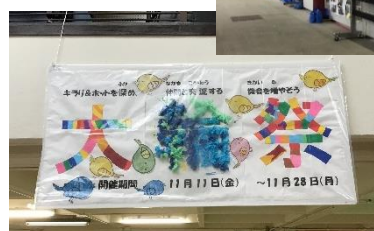


(文責：揚張)

＜病弱学級・訪問教育＞

病弱・訪問学級は主に掲示物などで大輪祭に参加しました。各パートでテーマを決めて、児童生徒が一生懸命取り組みました。さらに他学部と協力し、看板づくりにも取り組みました。

作成した看板は、本校の様々な場所に設置され、『大輪祭』という雰囲気をつくりあげるとともに児童生徒、発表や作品を見学に来た方々に『大輪祭』を堂々とアピールすることができました。



(文責：竹田)

＜寄宿舎＞

きらめく個性の作品展（12月3日から12月25日）に、サンタクロースと雪だるまのイラストを出展しました。『福笑い』のように、一人一人各パーツを選び、色を塗ったり、貼ったりしました。個性あふれる作品ができました。是非、アピタ静岡店へ足を運んでください。

(文責：谷下)

